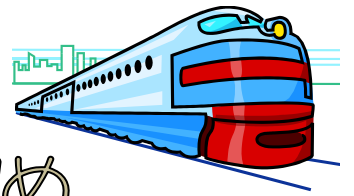


3等車(プラッツカルタ)で旅しよう!!

シベリア鉄道全線走破のお勧め



シベリア鉄道はロシアのウラジオストク-モスクワ間をつなぐ世界最長 9259 キロの鉄道路線。かつては日本人がこの鉄道を利用してヨーロッパへと移動しており、終着駅のモスクワはヨーロッパへの窓口となっていました。今でもモスクワは日本人にとってヨーロッパへの窓口に違いありませんが、約 10 時間のフライトで簡単に行ける場所になっています。

そんな時代に JIC はあえてウラジオストクからのシベリア鉄道の旅をお勧めします。ロシアの広大な大地と白樺の続く美しい自然、またゆったりとした時間の流れを体験するにはシベリア鉄道がいちばん。日本では味わえない「時間」を彩るのはあなた自身です。



車窓からの眺め



途中の駅での物売り

シベリア鉄道で代表的なのが 1 番列車(通称ロシア号)です。通常シベリア鉄道の寝台列車は、4 人部屋(2等)と 2 人部屋(1等)そして3等に相当するプラッツカルタに分かれています。1等、2等が個室(コンパートメント)に対して3等は開放式。通路沿いに2段ベッドが左右に設置されています。3 等車は開放式のため比較的料金が安く、夏の休暇の時期はロシアの学生さん、遠く離れた家族に会いに行く人たちなどでごった返す庶民の空間、気取らない交流の旅には最適です。ただし夏の時期には「ロシア号」の 3 等車は安くて速いため残念ながらすぐに売り切れてしまい日本からはチケットが手に入りづらいのです。今、冬の時期だからこそその 3 等車体験、いかがでしょうか？

～3等車(プラッツカルタ)車両～



3 等車(プラッツカルタ)の特徴と注意点

■ 3 等車は以上の写真でもわかるように、コンパートメント(部屋)になっていません。そのためプライベートを重視したい方にはあまりお勧めできません。また貴重品についてはくれぐれも注意していただき、必ず自分の体につけて休むようにしてください。

■ ベッドについてですが、ベッドの幅が狭く上段の方は特に座高がないので居心地良く座っていることができません。またベッドには柵がないため、落ちてしまわないかご心配な方もいらっしゃるかもしれません。予約の際はなるべく下段を取るよう現地旅行会社に伝えますが、必ずしもご希望どおりにならないことをご了承ください。

■車両の両端には洗面所兼トイレがあります。2 人部屋・4 人部屋よりもたくさんの方がいらっしゃいますから、朝晩混み合うことは必至です。また停車駅が近づくと閉鎖されますので、トイレに行くことができませんので注意が必要です。

■列車にはシャワーはありません。水は洗面所でしか調達できないため、できれば飲料水のペットボトルをあらかじめ購入して持ち込むなどしたほうがよいようです。お湯は無料で使えますので、MY カップとティーバックなどを持ち込むと便利でしょう。

プラッツカルタ Q&A

<Q1> 3 等車で景色をじっくり見ることはできますか？車窓を見ることが目的なのですが…

ベッドが下段であれば車窓をご覧いただくことができます。JIC ではなるべく下段を取っていただくようリクエストしますが、必ずしもご希望どおりにならない場合があります。そのような場合は下段の方に断って下段のベッドに座らせてもらえるよう頼んでください。たいてい快く OK してくれるはずですよ。

また列車の窓が汚れていてみづらい場合は意外に多いです。こればかりは仕方がないです。

<Q2>冬は 3 等車は寒くはありませんか？部屋が分かれていないと聞いたので心配です。

車両全体に暖房が入りますので、通常は寒くないです。

<Q3>着替えなどはどうすればいいでしょう？

特に女性の場合に気になるのは着替えです。3 等車は開放車両のため隠れるところがありませんので、毛布の中で着替えをしたり、洗面所を利用する際に着替えを持ち込んだり、と苦労しているようです。全く着替えないという選択肢もあります。

<Q4>食事はどうしていましたか？

1 番列車には食堂車がついていますが、メニューが少なく料金も割高ですので、日本で予めレトルト(お湯で作れるもの)を用意したり、出発前にスーパーで食料品を購入したりとみなさん工夫しています。また途中の駅でも売り子から購入できます。オススメはピロシキ、オームリ(淡水魚)の燻製、松の実など。他にふかしたジャガイモ、鳥のテリヤキ、りんご、トマト、ひまわりの種、アイスクリーム、ブリヌイ(ロシアクレープ)などが販売されています(季節によって変わります)

<Q5>デジタルカメラの充電はできますか？

車両にプラグ差し込み口が 2 つあり、電子機器の充電ができるとのこと。ただすべての列車・車両にあるかどうか確認してはいませんので、心配な方は事前に充電をしていきましょう。

<Q6>大きな荷物はどうしていましたか？

1 階席の座席下のスペースに入れたり、3 階席(繁忙期以外は空席)に置くことが多いようです。

<Q7>どんな人たちが乗ってくるのでしょうか？

学生の団体や親子連れ、年配の女性の方が多く、逆に旅行者は少ないようです。

特にロシア人は皆陽気で、英語は話せないけれど、ロシア語やモスクワの名所を教えてもらうなど、仕切りがない分距離が近く、いろいろな会話できそうです。



陽気なロシアのおばちゃん

* 以上は 2009 年 12 月現在の情報を元に編集しました。